

《令和2年度事業報告》

公益財団法人 功農支援会

I 総括

功農支援会は、平成26年に一般財団法人として設立し、平成28年4月に「公益財団法人」に移行をし、農業の担い手となる人材の育成・確保並びに就農活動、農業活動に対する支援を通じて、農業に関するノウハウと経営手法を伝授し農業の振興と健全な発展の寄与に努めてきた。

令和2年度も新規就農者に対する勉強会や実践研修を通して、次世代型農業経営者を育成支援していくことを目的とした新規就農者向け研修プログラムを実施した。さらに当財団の資金力を生かし、研修生への生活支援をするための研修助成金の給付を行った。

募集活動については、コロナウイルス感染症対策により活動を制限する中で、ホームページリニューアルやSNS発信を積極的に実施、さらに令和3年3月にはマイナビ就農FEST名古屋へ出展し、当財団の魅力をPRしたが令和2年度の応募にはつながらず新規研修生は4名となった。

また、永続的に事業を発展させることを目的に、経営管理改善に関する調査及び立案を外部コンサルティングに委託し、新規就農者向け研修プログラムの見直しを図った。令和3年度からは一新した研修プログラムで、次世代型農業経営者の育成支援を行っていく。

II 公益目的事業

1. 農業研修事業

次世代型農業経営者を育成するため、就農希望の研修生を募集し下記のとおり研修プログラムを実施した。

(1) 研修生の募集

① 募集期間

第1期生：令和2年4月～令和2年8月

第2期生：令和3年1月～令和3年3月

② 募集人数：定員15名程度

ア) 基礎研修コース 2名

イ) 経営者育成研修コース 2名

ウ) 短期研修コース 0名

③ 募集方法

ア) 当財団ホームページにて公募

問合せ：9件

イ) 功農支援会就農セミナー開催中止

ウ) マイナビ就農FESTへの出展

出展先	開催日・開催場所	面談数
マイナビ就農FEST	令和3年3月13日(土) ウイंकあいち	15件18名

※新・農業人フェアへの出展は見送り

エ) 愛知県「農起業支援センター」訪問中止

オ) 行政機関(田原市)との連携による募集

問合せ：1件

カ) 田原市商工会への募集

キ) 農業インターンシップの法人登録申請を取り止め

(2) 研修生の選考

研修生を募集し、基礎研修コースに2名、経営者育成研修コースに2名の応募があり面接を行った。選考の結果、基礎研修コース2名、経営者育成研修コース2名の研修生を採用した。

① 基礎研修コース

・令和2年9月18日(金) 研修候補者選考(トマト)

・令和2年12月4日(金) 研修候補者選考(葉ネギ)

② 経営者育成研修コース

・令和2年5月20日(水) 研修候補者選考(トマト)

・令和2年6月24日(水) 研修候補者選考(トマト)

(3) 研修内容

① 基礎研修コース

下記内容の基礎の研修を実施した。

【基礎の研修内容】(1年)

○トマト等施設栽培研修：収穫・出荷・葉かき(病気・カビを防ぐために古くなった下葉を取り除く作業)等、栽培実習を行う。

○ハウス設備、栽培システム等の操作方法や簡単なメンテナンス方法を学ぶ。

○生産物販売研修^{*1}：生産物の流通販売経路を理解し、情報収集の方法、消費者動向の分析等を学びながら収穫物の販売を行う。

- 家族経営農業実践研修：種苗、農耕機械等、農業に必要な物資の調達方法を学び、農業の生産計画をたて実行する。
- 大規模農園：提携先の大規模農園にて、労務管理等を学ぶ。
- 勉強会^{※2※3※4}：土壌、病虫害防除、施肥管理、環境管理等を講師より学ぶ。
- 圃場巡回^{※2}：圃場を巡回し栽培に関する意見交換等を行う。
- 定例会^{※2}：圃場巡回で得られた知識等を実地で活かすための検討等を行う。

② 経営者育成研修コース

下記内容の応用の研修を実施した。

【応用の研修内容】(1年)

- 研修農場管理：栽培から経営まで自ら行いながら農業経営を習得するために、温室1棟を研修生が各自で管理する。
- 大規模農園：提携先の大規模農園にて労務管理の他、出荷管理、経営管理を中心に学ぶ。
- 短期研修：他品目での短期研修を行う。
- 勉強会^{※2※3※4}：就農手続き・マーケティング・経理等を講師より学ぶ。
- 圃場巡回^{※2}：圃場を巡回し栽培に関する意見交換等を行う。
- 定例会^{※2}：圃場巡回で得られた知識等を実地で活かすための検討等を行う。

③短期研修コース (6ヶ月)

該当者なし。

※¹ 生産物販売研修 実績：18,485,573円

※² 勉強会・圃場巡回・定例会

下記の通り勉強会・圃場巡回・定例会を実施した。

- ・勉強会 : 37回
- ・圃場巡回 : 18回
- ・定例会 : 24回

※³ 実践的 e-ラーニングの開発

新規就農に向けて栽培技術・農業経営手法等が学べる e-ラーニングプログラムを開発するため、豊橋技術科学大学と共同研究を行った。

※⁴ 豊橋技術科学大学が開講する「IT食農先導士養成プログラム」については受講者なし。研修生1名が「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」を受講。

(4) 栽培品目

下記の通りトマト、葉ネギ、小松菜、キクを栽培した。

- ・トマト . . . 6、7月栽培終了、8月定植

- ・ミニトマト・・・9、3月定植
- ・葉ネギ・・・周年栽培
- ・小松菜・・・8月より栽培開始。周年栽培
- ・キク・・・提携農場 イノチオ農芸(株)にて周年栽培（※研修生は5月迄栽培）

(5) 研修助成金の支給

下記のコースにより、それぞれ研修助成金を支給した。

合 計：6,744,302 円（※日割計算、時短研修による助成金減額あり）

内 訳：基礎研修 月額 12 万円×4 名

応用研修 月額 15 万円×3 名

III 法人事業

1. 理事会の開催

内容	日時	主要議案
理事会 (決議の省略)	令和2年 6月6日(土)	・令和元年度に係る計算書類及び事業報告の承認
臨時理事会	9月30日(水)	・寄附財産受入の件
臨時理事会	10月31日(土)	・寄附財産受入の件
臨時理事会	12月25日(金)	・寄附財産受入の件
臨時理事会	令和3年 1月15日(金)	・理事候補者決定ならびに評議員への提案
理事会	3月27日(土)	・令和3年度事業計画、収支予算の承認

2. 評議員会の開催

内容	日時	主要議案
定時評議員会	令和2年 6月20日(土)	・令和元年度に係る計算書類及び事業報告の承認
臨時評議員会	令和3年 1月30日(土)	・理事選任の件

3. 情報公開

ホームページやFacebook等を通して、当財団の活動内容および実績並びに研修に関する情報の公開を行い、当財団の認知と事業内容の周知に努めた。